

内令

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

右警備潜水艦ト定メラル

昭和十八年三月五日

吳鎮守府在籍

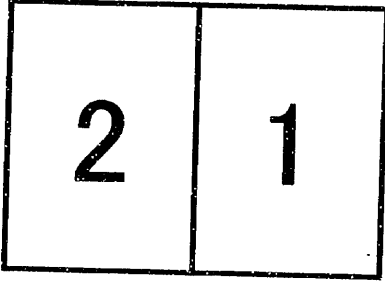
呂號第百五潜水艦

海軍大臣 嶋田繁太郎

四〇六

0453

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	航空母艦大鳳定員表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

(別表)

(昭和十八年内令第三百九十二號)

航空母艦大鳳定員表

(假定)

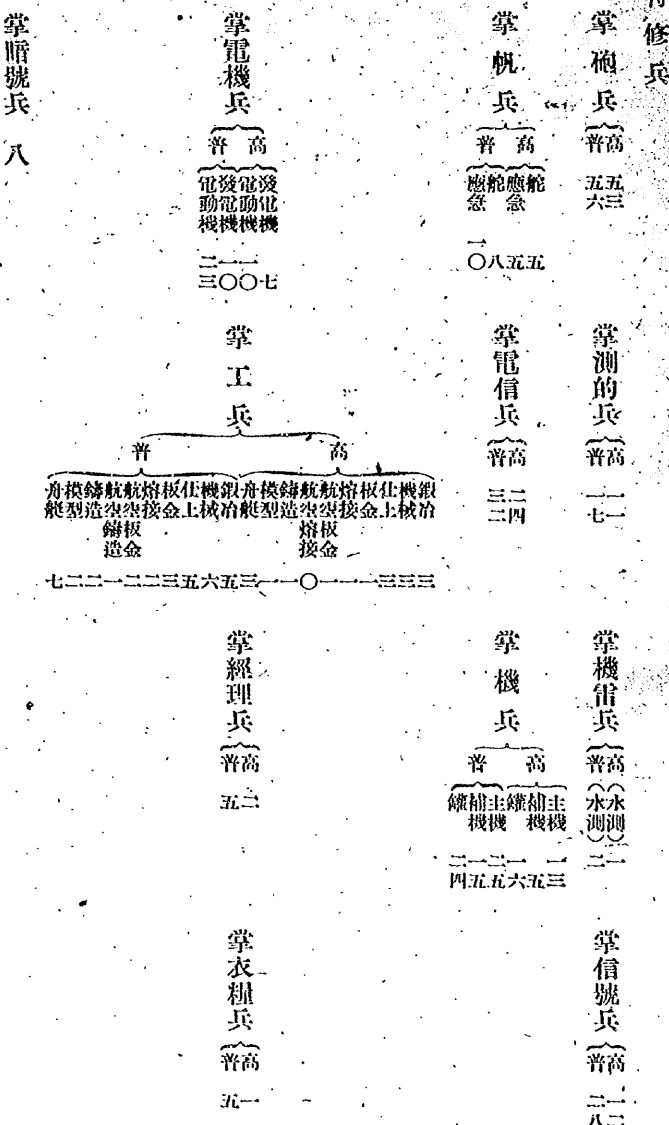
職名	階級	定員	計		備考
			官	兵	
艦長	大	1	1	0	<p>一 兵科分隊長ノ中二人ハ砲臺長、一人ハ見張指揮官兼航海長補佐官、七人ハ飛行部指揮官、三人ハ整備部指揮官、一人ハ機械部指揮官、一人ハ艦部指揮官、一人ハ電機部指揮官、一人ハ補機部指揮官ニ充ツ</p> <p>二 乗組兵科尉官ノ中二十五人ハ飛行部附、二人ハ整備部附ニ充ツ</p> <p>三 必要ニ應ジ軍醫長タル兼務分隊長ニ代フルニ軍醫少佐又ハ軍醫大尉ノ専務分隊長ヲ以テシ</p> <p>四 乗組軍醫科尉官一名ヲ減ズルコトヲ得主計長及乗組主計科尉官ニ付亦之ニ準ズ</p> <p>五 中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌砲長、一人ハ掌運用長、一人ハ信號長、一人ハ掌通信長、一人ハ電信長、一人ハ暗號長、一人ハ操舵長、二人ハ砲臺部附ニ充テ信號長又ハ操舵長ノ中一人ハ掌航海長ヲ兼シムルモノトス</p> <p>六 中少尉(整)及飛行兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、五十三人ハ飛行隊附又ハ飛行部附ニ充ツ</p> <p>七 中少尉(機)及機關兵曹長ノ中一人ハ掌機長、二人ハ機械長、二人ハ備長、一人ハ電機長、一人ハ補機長ニ充テ、中少尉(工)及工作兵曹長ノ中一人ハ掌工作長、一人ハ工業長ニ充ツ</p> <p>八 主計中少尉(主)ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ</p> <p>九 飛行科及整備科ニ於ケル特務士官、准士官、下士官及兵ノ定員ハ必要ニ應ジ各其ノ合計員數ヲ超過セザル限リ飛行科、整備科又ハ機關科ヲ以テ各指定科別ニ代フルコトヲ得</p> <p>十 飛行機ヲ搭載セザルトキハ飛行長、飛行隊長及整備長並ニ前諸職中ノ飛行科及整備科ノ關係職員(兵科分隊長、中少尉(整)又ハ整備兵曹長ノ中一人ヲ除ク)乗組軍醫中少尉一人、飛行兵曹、整備兵曹、主計兵曹三人及主計兵二十一人ヲ置カズ(飛行機ノ一部ヲ搭載セザルトキハ概テ其ノ數ニ比例シテ上掲ノ人員ヲ置カザルモノトス)但シ飛行科、整備科下士官及兵ニ限リ其ノ合計員數ノ十分ノ一以内ノ人員ヲ置クコトヲ得</p> <p>十一 兵科分隊長ノ中一人ハ大尉(機)、一人ハ大尉(整)ヲ以テ、乗組中少尉ノ中二人ハ中少尉(水)又ハ兵曹長、一人ハ中少尉(機)又ハ機關兵曹長、一人ハ中少尉(工)又ハ工作兵曹長ヲ以テ充ツルコトヲ得</p>
副艦長	中	1	1	0	
航海長	中	1	1	0	
砲臺長	中	1	1	0	
通信長	中	1	1	0	
運用長	中	1	1	0	
飛行隊長	中	1	1	0	
整備隊長	中	1	1	0	
機關隊長	中	1	1	0	
工作隊長	中	1	1	0	
分隊長	少佐、大尉	17	17	0	
乘組	兵科尉官	27	27	0	
軍醫長兼	軍醫中少佐	15	15	0	
分隊長兼	軍醫中少尉	3	3	0	
主計長兼	主計中少佐	1	1	0	
分隊長兼	主計科尉官	1	1	0	
乘組	中少尉(水)	4	4	355	
中少尉(整)	中少尉(機)	11	11	455	
中少尉(工)	衛生中少尉	3	3	97	
主計中少尉(主)	主計兵	1	1	35	
衛生中少尉	衛生兵	1	1	9	
主計中少尉(主)	主計兵	2	2	54	
水	水兵	4	4	355	
整備	整備兵	4	4	55	
機關	機關兵	11	11	97	
工作	工作兵	3	3	5	
衛生	衛生兵	1	1	9	
主計	主計兵	1	1	35	
飛行	飛行兵	17	17	24	
整備	整備兵	15	15	88	
機關	機關兵	1	1	24	
工作	工作兵	1	1	76	
飛行	飛行兵	1	1	20	
整備	整備兵	1	1	30	
機關	機關兵	1	1	9	
工作	工作兵	1	1	1	
衛生	衛生兵	1	1	1	
主計	主計兵	1	1	1	
兵曹長	兵曹長	1	1	5	
飛行兵曹長	飛行兵曹長	1	1	30	
整備兵曹長	整備兵曹長	1	1	19	
機關兵曹長	機關兵曹長	1	1	4	
工作兵曹長	工作兵曹長	1	1	1	
衛生兵曹長	衛生兵曹長	1	1	1	
主計兵曹長	主計兵曹長	1	1	1	
兵曹	兵曹	1	1	1	
准士官	准士官	61	61	1	
下士官	下士官	442	442	1	
兵	兵	105	105	1	

0455 0454

特修兵
 掌砲兵(高五三)
 掌測的兵(高一七)
 掌機雷兵(高水四三)
 掌信號兵(高三二)

特務	士	計	乘組						乗分軍乘						
			主計中少尉(主)	衛生中少尉	中少尉(工)	中少尉(機)	中少尉(飛)	中少尉(水)	乘分隊長	軍醫中少尉	軍醫中少尉	軍醫中少尉	乘分隊長	主計中少尉	主計中少尉
四十六人	七十八人		二	一	一	三	十一	二十四	四	一	一	三	一	一	一
兵	下士	准士	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	整備兵	水兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵
千百五人	四百四十二人	六十一人	五十四	九	三十五	百九十七	四百五十五	三百五十五							

考		備	
特修兵	掌砲兵(高)五三	一 兵科分隊長ノ中二人ハ砲臺長、一人ハ見張指揮官兼航海長補佐官、七人ハ飛行部指揮官、三人ハ整備部指揮官、一人ハ機械部指揮官、一人ハ艦部指揮官、一人ハ電機部指揮官、一人ハ補機部指揮官ニ充ツ	一 兵科分隊長ノ中二人ハ砲臺長、一人ハ見張指揮官兼航海長補佐官、七人ハ飛行部指揮官、三人ハ整備部指揮官、一人ハ機械部指揮官、一人ハ艦部指揮官、一人ハ電機部指揮官、一人ハ補機部指揮官ニ充ツ
掌帆兵(高)五三	掌測的兵(高)一七	二 乗組兵科尉官ノ中二十五人ハ飛行部附、二人ハ整備部附ニ充ツ	二 乗組兵科尉官ノ中二十五人ハ飛行部附、二人ハ整備部附ニ充ツ
掌電機兵(高)五三	掌電信兵(高)三二	三 必要ニ應ジ軍醫長タル兼務分隊長ニ代フルニ軍醫少佐又ハ軍醫大尉ノ専務分隊長ヲ以テシ	三 必要ニ應ジ軍醫長タル兼務分隊長ニ代フルニ軍醫少佐又ハ軍醫大尉ノ専務分隊長ヲ以テシ
掌工兵(高)二四	掌機兵(高)一五	四 乗組軍醫科尉官一名ヲ減ズルコトヲ得主計長及乗組主計科尉官ニ付亦之ニ準ズ	四 中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌砲長、一人ハ掌運川長、一人ハ信號長、一人ハ掌通信長、一人ハ電信長、一人ハ暗號長、一人ハ操舵長、二人ハ砲臺部附ニ充テ信號長又ハ操舵長ノ中一人ハ掌航海長ヲ兼シムルモノトス
掌艦兵(高)二四	掌雷兵(高)一五	五 中少尉(飛)及飛行兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、五十三人ハ飛行隊附又ハ飛行部附ニ充ツ	五 中少尉(飛)及飛行兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、五十三人ハ飛行隊附又ハ飛行部附ニ充ツ
掌艦長(高)二四	掌信號兵(高)二八	六 中少尉(整)及整備兵曹長ノ中一人ハ掌整備長、一人ハ發着機部附、二十八人ハ飛行部附又ハ整備部附ニ充ツ	六 中少尉(整)及整備兵曹長ノ中一人ハ掌整備長、一人ハ發着機部附、二十八人ハ飛行部附又ハ整備部附ニ充ツ
掌艦長(高)二四		七 中少尉(機)及機關兵曹長ノ中一人ハ掌機長、二人ハ機長、二人ハ電機長、一人ハ補機長ニ充テ、中少尉(工)及工作兵曹長ノ中一人ハ掌工作長、一人ハ工業長ニ充ツ	七 中少尉(機)及機關兵曹長ノ中一人ハ掌機長、二人ハ機長、二人ハ電機長、一人ハ補機長ニ充テ、中少尉(工)及工作兵曹長ノ中一人ハ掌工作長、一人ハ工業長ニ充ツ
掌艦長(高)二四		八 主計中少尉(主)ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ	八 主計中少尉(主)ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ
掌艦長(高)二四		九 飛行科及整備科ニ於ケル特務士官、准士官、下士官及兵ノ定員ハ必要ニ應ジ各其ノ合計員數ヲ超過セザル限リ飛行科、整備科又ハ機關科ヲ以テ各指定科別ニ代フルコトヲ得	九 飛行科及整備科ニ於ケル特務士官、准士官、下士官及兵ノ定員ハ必要ニ應ジ各其ノ合計員數ヲ超過セザル限リ飛行科、整備科又ハ機關科ヲ以テ各指定科別ニ代フルコトヲ得
掌艦長(高)二四		十 飛行機ヲ搭載セザルトキハ飛行長、飛行隊長及整備長並ニ前諸號中ノ飛行科及整備科ノ關係職員(兵科分隊長、中少尉(整)又ハ整備兵曹長ノ中一人ヲ除ク)乗組軍醫中少尉一人、飛行兵曹、整備兵曹、主計兵曹三人及主計兵二十一一人ヲ置カズ(飛行機ノ一部ヲ搭載セザルトキハ概テ其ノ數ニ比例シテ上掲ノ人員ヲ置カザルモノトス)但シ飛行科、整備科下士官及兵ニ限リ其ノ合計員數ノ十分ノ二以内ノ人員ヲ置クコトヲ得	十 飛行機ヲ搭載セザルトキハ飛行長、飛行隊長及整備長並ニ前諸號中ノ飛行科及整備科ノ關係職員(兵科分隊長、中少尉(整)又ハ整備兵曹長ノ中一人ヲ除ク)乗組軍醫中少尉一人、飛行兵曹、整備兵曹、主計兵曹三人及主計兵二十一一人ヲ置カズ(飛行機ノ一部ヲ搭載セザルトキハ概テ其ノ數ニ比例シテ上掲ノ人員ヲ置カザルモノトス)但シ飛行科、整備科下士官及兵ニ限リ其ノ合計員數ノ十分ノ二以内ノ人員ヲ置クコトヲ得
掌艦長(高)二四		十一 兵科分隊長ノ中一人ハ大尉(機)、一人ハ大尉(整)ヲ以テ、乗組中少尉ノ中二人ハ中少尉(水)又ハ兵曹長、二人ハ中少尉(機)又ハ機關兵曹長、一人ハ中少尉(工)又ハ工作兵曹長ヲ以テ充ツルモノトヲ得	十一 兵科分隊長ノ中一人ハ大尉(機)、一人ハ大尉(整)ヲ以テ、乗組中少尉ノ中二人ハ中少尉(水)又ハ兵曹長、二人ハ中少尉(機)又ハ機關兵曹長、一人ハ中少尉(工)又ハ工作兵曹長ヲ以テ充ツルモノトヲ得



内令撰
要登載

内令撰
要登載

内令第四百四號

昭和十七年内令第千二百二十號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄ニ「第十五號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八頁参照)

内令第四百五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年三月六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「、第四十四」ノ下ニ「、第四十五」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五六頁参照)

内令

四〇七

0456

内令

四〇八

内令提
要登載

内令第四百六號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年三月六日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ五中「、第四十四」ノ下ニ「、第四十五」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ五四頁参照)

内令第四百七號

横須賀鎮守府在籍

伊號第四十五潜水艦

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十八年三月六日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第四百八號

伊號第四十五潜水艦

内令提
要登載

0457

右本籍ヲ横須賀鎮守府卜定メラル

昭和十八年三月六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四〇九

0458

内令
登載

内令第四百九號

右本籍ヲ横須賀鎮守府卜定メラル

昭和十八年三月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十八號 掃海艇

内令
登載

内令第四百十號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年三月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

掃海艇定員表其ノ一中「第二十五」ノ下ニ「第二十八」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七八頁参照)

内令
登載

内令第四百十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令

四二

0459

内令

四二二

昭和十八年三月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八掃海艇ノ部中「二十五」ノ下ニ「二十八」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五四ノ六頁参照)

内令第四百十二號

横須賀鎮守府在籍

第二十八號掃海艇

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十八年三月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0460



内令第四百十三號

吳鎮守府在籍

伊號第三十七潜水艦

右警備潜水艦ト定メラル

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍艦政本部(海軍監督官事務所ニ於テ勤務セシムベキモノ)

技術科佐尉官

造船監督官

十人(技師(臨時)ヲ以テ充ツルコトヲ得)

技術科尉官

造船監督官

六人

内令

四一三

0461

内令

四一四

内令第四百十五號

昭和十七年内令第四百四十五號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「兵科、技術科大佐 出仕 一人

「造兵大佐 出仕 兼務一人

技 術 大 佐 出仕 兼務一人

中少佐 出仕 兼務一人」ヲ

中 少 佐 出仕 兼務一人

ニ、「看護特務」及「看護」

ヲ「衛生」ニ改ム

技 術 科 佐 官 出仕 一人」

参照 前記内令ハ横須賀鎮守府（相模海軍工廠（假稱）設立準備ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令提

要登載

内令第四百十六號

特設海軍病院令中左ノ通改正セララル

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四條第一項中「部長」ノ次ニ「分院長」ヲ加フ

0462

内令撰
要登載

第十二條ヲ第三條ノ二トシ同條中「第三條」ヲ「前條」ニ改ム
第十一條ヲ第十二條トス
第十一條 分院長ハ院長ノ命ヲ承ケ分院ノ院務ヲ掌理ス
第十三條ヲ削ル

(内令提要卷マ、三八ノ三三頁参照)

内令第四百十七號

特設海軍航路部等ノ定員ノ件申左ノ通改正セラル

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表第十三中「長 軍醫大佐 一」ノ次ニ「分院長 軍醫科佐尉官 兼務一」ヲ加ヘ士官「十五人」

ヲ「十六人」ニ改ム
内兼務一人

別表第十四中備考第一號ヲ第二號、第二號ヲ第三號トシ第一號トシテ左ノ一號ヲ加フ

一 本表ノ外第百二海軍病院ニハ分院長軍醫科佐尉官兼務一人ヲ置ク

内令

四一五

0463

内令提
要登載

内令

四一六

(内令提要卷一、四五六ノ一四ノ二三頁参照)

内令第四百十八號

昭和十五年内令第六百四十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第百二海軍航空廠クーバン分工場ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

<p>第百二海軍病院 マカツサル分院</p>		<p>マカツサル</p>	<p>所屬艦隊其ノ他各部ノ患者ノ診療、諸般ノ衛生的検査及傳染病消毒、竝ニ各部ニ要スル治療品ノ準備、保管及供給ニ關スル事項</p>
----------------------------	--	--------------	--

参照 昭和十五年内令第六百四十六號ハ、特設海軍工作部等ノ所掌區分等ヲ定ムルノ件ナリ(内令提要卷一、三八ノ四一頁)

内令第四百十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0464

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

水路部

水兵、整備兵、機關兵

六十人

横須賀鎮守府在籍者 三
呉鎮守府在籍者 四
佐世保鎮守府在籍者 一
舞鶴鎮守府在籍者 二
五

内令第四百二十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一根據地隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

兵 曹、水 兵 二十六人

第二十二特別根據地隊

大 中 尉(水) 分隊長 一人

内令

四一七

0465

内令

四一八

中少尉(水)、兵曹長	隊附	二人
中少尉(機)、機關兵曹長	隊附	一人
兵曹、水兵		八十人
機關兵曹、機關兵		六人

内令第四百二十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第二千三百四十九號ハ之ヲ廢止ス(済)

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六十三警備隊

第六十四警備隊

中少尉(水)、兵曹長 隊附 二人

兵曹、水兵 八十三人

第六十五警備隊

0466

中少尉(水)、兵曹長 隊附 二人
 兵 曹、水 兵 九十五人
 衛生兵曹、衛生兵 一人
 主計兵曹、主計兵 三人
 第八十一警備隊
 大 中 尉(水) 分隊長 一人
 中少尉(水)、兵曹長 隊附 四人
 中少尉(機)、機關兵曹長 隊附 一人
 兵 曹、水 兵 百六十六人
 機關兵曹、機關兵 二十人
 衛生兵曹、衛生兵 二人
 主計兵曹、主計兵 八人
 本人員ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス
 參照 昭和十七年内令第二千三百四十九號ハ第八根據地隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

0467

内令

四二〇

内令第四百二十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

本令ハ昭和十八年三月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府第七特別陸戰隊

大	中	尉(水)	分隊長	一人
中少尉(水)	兵曹長	隊附	四人	
中少尉(機)	機關兵曹長	隊附	一人	
兵	曹、水	兵	百三十四人	
機關兵曹	機關兵		十六人	
衛生兵曹	衛生兵		二人	
主計兵曹	主計兵		四人	

0468

内令第四百二十三號

豫備學生術科教育ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第八十一號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

館山海軍砲術學校

中	少	佐	教	官	二人
中	少	尉	附兼	教官	二人
中	少尉(水)	兵曹長	附兼	教官	四人
			(教員)		
衛生	中少尉	衛生兵曹長	附		一人
兵			(教員)		十二人(掌砲兵高)
水	兵	機	關	兵	十三人
衛	生			兵	一人
主	計			兵	五人(掌經理兵一)

内令

四二二

0469

内令

海軍通信學校

中	少	佐	教	官	二人
中	少	尉	附兼	教官	二人
中	少尉(水)、兵曹長	曹	附兼	教員	二人
兵	兵	曹	(教員)	五人	(掌電信兵 高三)
水	兵、機	關	兵	七人	
主	計	兵		二人	
海軍機雷學校					
中	少	佐	教	官	一人
中	少	尉	附兼	教官	二人
中	少尉(水)、兵曹長	曹	附兼	教員	二人
兵	兵	曹	(教員)	四人	(掌機雷兵 機雷 水測 高三)
水	兵、機	關	兵	六人	
主	計	兵		二人	

0470

海軍航海學校

中少佐 教官 一人

中少尉(水)、兵曹長 (附兼教官) 一人

兵曹 (教員) 二人 (掌帆兵 高應一)

水兵、機關兵 三人

主計兵 一人

參照 昭和十七年内令第十八十一號、豫備學生術科教育ニ充ツル爲館山海軍砲術學校等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百二十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八艦隊司令部

中少尉 附 一人

内令

四二三

0471

内令

四二四

内令第四百二十五號

昭和十六年内令第八百四十三號中「長月」ノ下ニ「朝顔」ヲ加フ

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ驅逐艦吹雪等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百二十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第二千四百七十八號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦金剛

兵曹、水兵

十五人(掌砲兵 一、掌信號兵 一)

軍艦榛名

兵曹、水兵

二十人(掌砲兵 一〇、掌信號兵 三)

0472

参照 前記内令ハ軍艦様名ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百二十七號

左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第二百九十五號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

自今潜水艦ニ特型運貨船搭載ノ場合ニハ運貨船一隻ニ付左ノ人員ヲ臨時増置スルコトヲ得

兵曹、水兵 一人

機關兵 一人

参照 昭和十八年内令第二百九十五號ハ伊號第五潜水艦ノ人員臨時減員ノ件ナリ

内令第四百二十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四二五

0473

内令

四二六

特設運送船伯耆丸

兵 曹、水 兵

三人(掌電信兵 一)

衛生兵曹、衛生兵

一人

主計兵曹、主計兵

一人

内令第四百二十九號

昭和十八年内令第九二號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎



横須賀海軍砲術學校

兵

曹 (教員)

十一人(掌砲兵 高六、掌測的兵 高五)

海軍機雷學校

大 中 尉(水)

教官兼
分隊長

四人

中少尉(水)、兵曹長

附兼教官
(教員)

九人

0474

兵	曹	(教員)	五十三人	(掌機雷兵)	(機雷)	高四一〇
機關兵	曹	(教員)	三人	(掌電機兵)	高	
海軍航海學校						
兵	曹	(教員)	十三人	(掌帆兵)	高	舵
海軍工作學校						
中少尉(工)	工作兵曹長	(附兼教員)	一人			
工	作兵	曹	(教員)	十八人	(掌工兵)	特又ハ高
海軍工機學校						(金工)
夫	中尉(機)	(分隊長)	二人			
中少尉(機)	機關兵曹長	(附兼教員)	五人			
機	關兵	曹	(教員)	二十五人	(掌内火兵)	高
						高
						九六

内令第四百三十號
當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

四二七

0475

内令

四二八

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍建築部

主計科佐尉官 部員 一人

内令第四百三十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四港務部

兵 曹、水 兵 九人

機關兵曹、機關兵 七人

内令第四百三十二號

昭和十八年内令第九七〇號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0476



昭和十八年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

岩國海軍航空隊

少佐、大尉

教官兼分隊長

四人

中少尉(水)、兵曹長

隊附兼教官

六人

兵曹

(教員)

四十人 (掌砲兵 一八、掌帆兵 一四二)

整備兵曹

(教員)

十七人 (掌整備兵 一六、掌電信兵 一)

衛生兵曹、衛生兵

五人

内令

四二九

0477

内令
掲載

内令第四百三十三號

昭和十七年内令第千二百二十號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第十五號」ノ前ニ「第六號、第七號、第十一號」ヲ
加フ

佐世保鎮守府ノ部佐世保防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第五號」ノ次ニ「第十三號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八頁參照)

内令

四三一

0478

内令提
要登載

内令第四百三十四號

昭和十七年内令第九百十二號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部中八雲ノ項「運一」ヲ「砲、運二」ニ改メ伊號第三十五潜水艦ノ項ノ次ニ

伊號第三十七潜水艦
一
ヲ加フ

佐世保鎮守府ノ部中伊號第七十八潜水艦ノ項ノ次ニ

伊號第八十二潜水艦
一
ヲ加フ

舞鶴鎮守府ノ部中第二八一海軍航空隊ノ項第五欄ニ「一」ヲ加フ

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令第四百三十五號

特設艦船部隊令中左ノ通改正セラル

内令

四三三

0479

内令

四三四

昭和十八年三月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九十一條中「直屬上官」ノ下ニ「艦船内ニ置カレタルモノハ當該艦船ノ長」ヲ加ヘ「艦船、」ヲ削ル

(内令提要卷一、六四ノ一頁参照)

0480

内令提
要登載

内令提
要登載

内令第四百三十六號

海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地ノ件申左ノ通改正セラレ

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部申第七〇一海軍航空隊及第七〇三海軍航空隊ノ各項ヲ削ル

(昭和十七年内令第九百七十八號參照)

内令第四百三十七號

海軍定員申左ノ通改正セラレ

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空隊定員表其ノ十一申第七〇三及第七〇一ノ各欄竝ニ通信長兼分隊長ノ下「中少佐」主計

長兼分隊長ノ下「主計中少佐」、「看護特務中少尉」、隊附技師及高等文官ノ各項ヲ削ル

同表備考第四號申「第七〇三海軍航空隊ハ五人」及同第五號ヲ削リ第六號ヲ第五號、第七號ヲ第

内令

四三五

0481

内令

四三六

六號トス

(内令提要卷一、三一五頁参照)

内令第四百三十八號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ三ノ三中第七〇三及第七〇一ノ各項ヲ削ル

同表備考第二號中「第七〇三、四四、第七〇一、二九、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四三六頁参照)

内令第四百三十九號

昭和十五年内令第八百八號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提要
登載

内令提要
登載

0482

海軍航空隊特別定員表其ノ二十一中第七〇五ノ欄兵曹「二十八」ヲ「三十」ニ、水兵「四十二」ヲ「四十八」ニ、下士官「四百十九人」ヲ「四百二十一人」ニ、兵「七百五十三人」ヲ「七百五十九人」ニ改メ第七〇一及第七〇三ノ各欄竝ニ隊附技師及高等文官ノ各項ヲ削ル

同表備考第一號中「三人(第七〇五海軍航空隊ハ四人)」ヲ「四人」ニ、「一人(第七〇五海軍航空隊ハ二人)」ヲ「二人」ニ、同第二號中「十人(第七〇五海軍航空隊ハ十三人)」ヲ「十三人」ニ、「二人(第七〇五海軍航空隊ハ二人)」ヲ「二人」ニ、同第四號中「四人(第七〇五海軍航空隊ハ六人)」ヲ「六人」ニ、「一人(第七〇五海軍航空隊ハ二人)」ヲ「二人」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ二十二ヲ別表ノ如ク改ム

海軍航空隊特別特修兵配置表中第七〇五、第七五一、第七五三及第七五五ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改メ第七〇一、第七〇三及第七〇七ノ各項ヲ削ル

第七〇五	第七五一	第七五三	第七五五
-/二	-/二	-/二	-/二
-/三	-/三	-/三	-/三
四/七	四/七	四/七	四/七
六/四	六/四	六/四	六/四
六/二	六/二	六/二	六/二
七/五	七/五	七/五	七/五
四/元	四/元	四/元	四/元
-/三	-/三	-/三	-/三
六/四〇	六/四〇	六/四〇	六/四〇
-/一	-/一	-/一	-/一
-/一	-/一	-/一	-/一
-/四	-/四	-/四	-/四
二/四	二/四	二/四	二/四
-/二	-/二	-/二	-/二
-/二	-/二	-/二	-/二
二/三	二/三	二/三	二/三
六/八	六/八	六/八	六/八
三/四	三/四	三/四	三/四
-/一	-/一	-/一	-/一
七/〇	七/〇	七/〇	七/〇
三/七	三/七	三/七	三/七
二/七	二/七	二/七	二/七
六	六	六	六

内令

四三七

内令提
登載

内令

同表備考第二號中

第七〇一	40
第七〇三	40
第七〇五	52
第七〇七	40
第七五一	52
第七五三	40
第七五五	40

ヲ

第七〇五	52
第七五一	52
第七五三	52
第七五五	52

ニ改ム

(別表一葉添)

参照 昭和十五年内令第八百八號ハ當分ノ開海軍航空隊特別定員表等ヲ定ムルノ件ナリ(内令提要卷一、四五六ノ八ノ九頁)

内令第四百四十號

昭和十七年内令第二千七號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設海軍航空隊定員表其ノ四中飛行隊中少佐「二一」ヲ、「二二」ニハ、分隊長少佐、大尉
 「九一七」ヲ「九一九」ニ、隊附兵科尉官「十五十一」ヲ「十五十五」ニ、中少尉
 (飛)「五十七四十三」ヲ「五十七五十七」ニ、中少尉(整)「六一五」ヲ「六一六」

四三八

0484

ニ、飛行兵曹長「六十四」五十四「ヲ」六十四「六十四」ニ、整備兵曹長「十四」九「ヲ」
 「十四」十四「ニ、兵曹」三十二「二十八」ヲ「三十」三十「ニ、飛行兵曹」百七十四
 百三十六「ヲ」百七十四「百七十四」ニ、整備兵曹「百六十八」百二十八「ヲ」百六十八
 百六十八「ニ、衛生兵曹」六「五」ヲ「六」六「ニ、技手」二「三」ヲ「三」三「ニ、
 水兵」四十八「四十二」ヲ「四十八」四十八「ニ、整備兵」五百八十九「四百四十二」ヲ
 「五百八十九」五百八十九「ニ、機關兵」四十二「三十八」ヲ「三十八」三十八「ニ、衛
 生兵」十二「八」ヲ「十二」十二「ニ、主計兵」四十二「三十一」ヲ「四十二」四十二
 ニ、士官「三十七人」三十人「ヲ」三十七人「三十七人」ニ、特務士官「六十九人」五十
 四人「ヲ」六十九人「六十九人」ニ、准士官「八十五人」七十人「ヲ」八十五人「八十
 五人」ニ、下士官「四百二十三」三百四十人「ヲ」四百二十一人「四百二十一人」ニ、判
 任文官「二人」三人「ヲ」三人「三人」ニ、兵「七百六十三人」五百九十一人「ヲ」七
 百五十九人「七百五十九人」ニ改ム
 同表備考第一號中「(第七五二海軍航空隊ハ三人)」、「(第七五二海軍航空隊ハ一人)」ヲ、同第二號

内令

四三九

0485

内令
登載

内令

中「第七五二海軍航空隊ハ十人」、「第七五二海軍航空隊ハ一人」ヲ、同第四號中「第七五二海軍航空隊ハ四人」、「第七五二海軍航空隊ハ一人」ヲ削ル
特設海軍航空隊特修兵配置表中第七〇二及第七五二ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改ム

第七〇二	一/三	一/三
第七〇二	一/三	一/三
第七〇二	四/七	四/七
第七〇二	六/三	六/三
第七〇二	六/三	六/三
第七〇二	七/五	七/五
第七〇二	七/五	七/五
第七〇二	四/五	四/五
第七〇二	一/二	一/二
第七〇二	一/二	一/二
第七〇二	六/四〇	六/四〇
第七〇二	一/二	一/二
第七〇二	一/二	一/二
第七〇二	一/四	一/四
第七〇二	一/四	一/四
第七〇二	一/二	一/二
第七〇二	一/二	一/二
第七〇二	三/三	三/三
第七〇二	六/八	六/八
第七〇二	三/四	三/四
第七〇二	一/二	一/二
第七〇二	七/七	七/七
第七〇二	七/七	七/七
第七〇二	六	六

同表備考第一號中

第七五二	40
ヲ	
第七五二	52

ニ改ム

参照 昭和十七年内令第二七七號ハ當分ノ間特設海軍航空隊定員表等ヲ定ムルノ件ナリ

内令第四百四十一號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セララル

四四〇

0486

令
登
載

内
令
提
要
登
載

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府 聯合艦隊 室戸海軍病院 特務艦室戸内

ヲ削ル

(内令提要卷一、三八ノ三八頁参照)

内令第四百四十二號

昭和十五年内令第六百四十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

室戸海軍病院ノ項ヲ削ル

参照 昭和十五年内令第六百四十六號ハ特設海軍工部等ノ所掌區分等ヲ定ムルノ件ナリ(内令提要卷一、三八ノ四八頁)

内令第四百四十三號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

内令

四四一

0487

内令

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 鳴田 繁太郎

四四二

同	汽船	同	漁船	船名	特設艦船種別	所管
建武丸	昌榮丸	網地丸	第八海形丸		特設監視艇	舞鶴鎮守府
	特設運送船(雑用船)					横須賀鎮守府

0488

海軍航空隊特別定員表 共二十二

考 備	計		隊 附										第 七 五 三 、 一	第 七 五 三 、 一						
	特 務 士 官	士 官	主計 衛生 中少尉 (主)	衛生 中少尉	中少尉 (工)	中少尉 (機)	中少尉 (整)	中少尉 (飛)	中少尉 (水)	技 手	主計 衛生 兵 曹	衛生 兵 曹			工 作 兵 曹	機 關 兵 曹	整 備 兵 曹	飛 行 兵 曹	兵 曹	
一 兵科分隊長ノ中四人ハ飛行部指揮官、一人ハ内務科長、二人ハ整備部指揮官、一人ハ工 業部指揮官、一人ハ補機部指揮官ニ充ツ 二 隊附兵科尉官ノ中十三人ハ飛行部附、二人ハ整備部附ニ充ツ 三 中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌通信長ニ充ツ 四 中少尉(整)及整備兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、一人ハ掌整備長、六人ハ搭載諸兵器ノ 整備ニ従事スルモノ、二人ハ搭載整備ニ従事スルモノニ充ツ 五 主計中少尉(主)及主計兵曹長ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ 六 飛行科及内務科ノ分隊長タルベキ者ノ中一人ハ大尉(水)又ハ(飛)ヲ以テ、整備科ノ 分隊長タルベキ者ノ中一人ハ大尉(整)、(機)又ハ(工)ヲ以テ補スルコトヲ得 七 本表中兵科ノ特務士官、准士官、下士官又ハ兵ハ必要ニ應ジ各共ノ定員ノ範圍内ニ於テ 彼此増減スルコトヲ得	六十九人	三十七人	一	一	一	一	六	五十七	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
	七百六十三人	四百二十一人	八十五人	三	四十二	十二	三十	四十二	五百八十九	四十八	十二	六	二十一	十	百六十八	百七十四	三十一	二	六十四	二

内令
要
登
載

内令第四百四十四號 (所要ノ向ニ配付ス)

内令第四百四十五號 (所要ノ向ニ配付ス)

内令第四百四十六號 (所要ノ向ニ配付ス)

内令第四百四十七號

潜水隊編制申左ノ通改定セラル

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一潜水隊ノ項ヲ削ル

第十二潜水隊ノ項中「伊號第七十二」ノ下ニ「伊號第七十四、伊號第七十五、伊號第七十六」ヲ加フ

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令

四四九

0490

内令第四百四十八號

吳鎮守府豫備艦

軍艦 伊勢

右第四豫備艦卜定ム

舞鶴鎮守府豫備特務艦

特務艦 室戸

右在役特務艦卜定ム

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百四十九號

昭和十七年内令第千二百二十號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部横須賀防備隊ノ項掃海特務艇ノ欄「第七號、第八號」ヲ削リ第三十一警備隊ノ項

内令
提
登
載

0491

内令
要登載

掃海特務艇ノ欄ニ「第七號、第八號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八頁参照)

内令第四百五十號

吳鎮守府所管

特設運送船(雜用船)霧島丸

右特設運送船(給油船)ト改ム

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百五十一號

特設砲艦隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二砲艦隊ノ項ヲ削ル

内令

四五

0492

(内令提要卷一、一四二ノ五頁参照)

内令第四百五十二號

特設監視艇隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一監視艇隊ノ項中「昌榮丸」ヲ「浮島丸」ニ改ム

第三監視艇隊ノ項中「第二榮福丸」ノ下ニ「第八海形丸、網地丸」ヲ加フ

(内令提要卷一、一四二ノ一〇頁参照)

内令第四百五十三號

右横須賀鎮守府所管ト改メラル

佐世保鎮守府所管

特設巡洋艦 浮島丸

汽船 昌榮丸

内令提要
登載

内令提要
登載

0493

内令提
要登載

内令提
要登載

右特設砲艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百五十四號

昭和十六年内令第千二百二十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府ノ項中

第九戰隊

ヲ削ル

参照 前記内令ハ艦隊等ノ司令部附タル特務士官以下ノ補充鎮守府ノ件ナリ

内令第四百五十五號

昭和九年内令第四百十六號別冊艦艇、特務艦艇機關使用限度標準表中別表ノ通改正ス

別表ハ海軍省軍務局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

内令

四五三

0494

内令

四五四

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百五十六號

昭和十八年三月三十一日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一航空基地隊

少佐、大尉

飛行長兼
分隊長

一人

中少尉(飛)、飛行兵曹長

隊附

二人

中少尉(整)、整備兵曹長

隊附

一人

飛行兵曹

三十八人(掌飛行兵)(操一九)

整備兵曹、整備兵

百九人(掌整備兵)(高二九)

衛生兵曹、衛生兵

二人

主計兵曹、主計兵

八人

0495

廢

内令第四百五十七號

當務ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第百三十九號ニテ本號廢止

昭和十七年内令第五百九十二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一航空艦隊司令部(輸送機關係業務ニ充ツベキモノ)

特務士官(飛)、飛行兵曹長 附 二人

特務士官(整)、整備兵曹長 附 一人

飛行兵曹 二十四人(掌飛行兵操一三)

整備兵曹、整備兵 七十二人(掌整備兵高一九)

衛生兵曹、衛生兵 一人

主計兵曹、主計兵 五人

参照 昭和十七年内令第五百九十二號ハ第十一航空艦隊司令部(輸送機關係業務ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

四五五

0496

内令
登載

内令

四五六

内令第四百五十八號

昭和十七年内令第千二百二十號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部横須賀防備隊ノ項驅潜特務艇ノ欄ニ「第二號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八頁参照)

0497

内令第四百五十九號

昭和十八年内令第二百六十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

書 記 附 臨時二人

參照 前記内令ハ横須賀鎮守府ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百六十號

昭和十七年内令第千三號中「昭和十八年三月三十一日迄」ヲ「昭和十八年九月三十日迄」ニ改ム

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(參照) 前記内令ハ横須賀鎮守府(香取海軍航空隊(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百六十一號

昭和十八年内令第八一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

四五七

0498

内令

四五八

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五海軍航空廠（トラックニ於ケル飛行機整備業務ニ充ツベキモノ）

中少尉（整）、整備兵曹長 附 二人

整備兵曹、整備兵 九十人（掌整備兵 三〇）

内令第四百六十二號

大正十二年内令第四百十三號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空本部ノ項ヲ左ノ如ク改ム

海軍航空本部		兵科 尉官	八人
技術 中少尉			三十五人
主計科 尉官			四人
當分ノ間			

（参照）前記内令ハ派遣勤務ヲ定クベキ廳及人員ノ件ナリ（内令提要卷一、四七二頁）

内令
要
登
載



第五海軍航空廠（トラックニ於ケル飛行機整備業務ニ充ツベキモノ）

中少尉（整）、整備兵曹長 附 二人

整備兵曹、整備兵 九十人（掌整備兵 三〇）

内令第四百六十二號

大正十二年内令第四百十三號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空本部ノ項ヲ左ノ如ク改ム

海軍航空本部		兵科 尉官	八人
技術 中少尉			三十五人
主計科 尉官			四人
當分ノ間			

（参照）前記内令ハ派遣勤務ヲ定クベキ廳及人員ノ件ナリ（内令提要卷一、四七二頁）

0499

内令第四百六十三號

昭和十七年内令第五百七十七號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「六十人」ヲ「七十人」ニ改ム

(参照) 前記内令ハ軍艦羽鶴、瑞鶴等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百六十四號

昭和十六年内令第三百七十五號中左ノ通改正ス

昭和十六年内令第三百七十六號高雄海軍通信隊ノ欄中兵曹長ノ項「二人」、兵曹ノ項「六人」、水兵ノ項「五人」、掌電信兵高ノ項「五」及特修兵適宜(暗號)ノ項「二」ヲ削ル

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四五九

0500

内令

高雄海軍通信隊ノ部ヲ左ノ如ク改ム

中少尉(水)、兵曹長附	新庄分遣隊	三塊厓分遣隊
兵 曹、水 兵	二十六人(掌電信兵)	二人
衛生兵曹、衛生兵	一人	
主計兵曹、主計兵	一人	
		三十一人(掌電信兵 二七)

参照 昭和十六年内令第千三百七十五號ハ佐世保海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件
同 年内令第千三百七十六號ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時減員ノ件

内令第四百六十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

四六〇

0501